



今月の話題：台風 19 号の想定外の雨量のもたらした被害は恐るべきものだった。地震に関しては従来、幾度となく想定以上の強震に見舞われて、その都度、耐震強度の見直しがあり、被害が軽減されてきた。今後、耐風、治水対策の再検討がなされるのだろう。建築設計の立場からは低地盤地域においては真っ先にピロティによる人工地盤が盛土による嵩上げより簡略、有効と思われるが、そのような発想はまだ生まれていない。(伊藤誠三)

### □ 本部便り：(金森捷三郎 記)

- ・11 月 29 日(金) 15 時～17 時サーツサロンを行います。
    - 次回拡大理事会：12 月 6 日(金) 16：00～
- 引き続き、「アブルボア」(東大農学部弥生キャンパス内 追ってご案内します)にて忘年会。  
拡大理事会資料提出締め切りは 11 月 28 日(木)

### □ 建築部会：(岡本 直 記)

- ・10 月の建築部会は 10 月 16 日(水)に開催しました。
  - (1) サーツ寺子屋 第 4 回以降のテーマの検討—12 月：モンゴル出張報告(仮題)—安倍重孝氏 1 月：SDGs に関連した「グリーンビル 欧米の建設技術トレンドの紹介」(仮題)—谷口英武氏
  - (2) 企画 WG からの検討テーマ：既存住宅を対象に「100 年住宅・建築に対するサーツの取組み」の意見交換した。
- ・少子高齢化、人口減少により空家が増える状況にあって、複数世代に亘り住み続けられる 100 年住宅の実現は、条件が難しい、健全な建物の維持・管理を継続させる条件が整う必要があり、その条件を満たせない場合は解体、もしくは他の用途の建築にリノベーションせざるを得ないことになるのではないかと。その場合、解体費用や区分所有権のあり方など、大きな問題も発生する。以上のような条件を満たす解決方法をどう創出するか、或いは他の選択があるか、広く討議できる場(セミナー、会報等)を、サーツに設けられたら良いのではないかと。以上の考え方をたたき台として意見交換を行った。次回以降も議論を続けていきたいと思っております。ぜひ、この問題について関心をお持ちの方のご意見をお寄せ下さい。

#### (3) 10 月の話題提供について

小鹿紀英さんから「近年、多発する地震を振り返る」をテーマとして、最近発生した各地震の特徴や建物への影響についての最新の見解を解説があり、長周期パルス、フリグステップの問題等、関心を呼んでいる話題についてもわかり易く解説して頂きました。

#### ○次回部会予定 11 月 20 日(水) 17：30～19：00

### □ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

- ・林野庁委託事業・デベロッパー「開発者」等のための CLT 講習会を 11 月 6 日高知、11 月 20 日福岡で実施します。また、林野庁 CLT 建築実証支援事業「木質建築における新たな防火仕様の研究開発」実験も進行中で、これらは関西在住の部会員のご協力もいただき部会員有志の方々に精力的に推進していただいています。

#### ○次回部会予定 11 月 14 日(木) 18：00～20：00

ショートスピーチ：菊池 清氏にフランス・コルシカ島の探訪記

### □ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

- ・即位の礼が厳かに、かつまた雨から晴れ上がり、虹ま

で現れたことで、「日本がこれからよい方向に変わるのでは？」との期待が漂い始めたと聞くと嬉しくなる。「住宅」への社会の期待が大きく膨らんでいる状況も見えるが、住宅に携わる者としてここでしっかり足元をみたい。住宅を、高性能・高品質に造る技術はできてきたが、国民の幸福感に寄与できていないのではないかと。ハウジングトリビューン(2019.19)の巻末で古川興一さんが「幸福論」「幸福指数」のことを紹介されたのを以下に引用させて頂く。国連の「世界幸福度指数」で 2019 年度日本は 58 位、台湾 25 位、タイ 52 位、韓国 54 位より下になっている。(北欧などが上位を占める。)英のシンクタンクやスイスの調査機関でのランキングでも、コスタリカやブータン、フィジーなどよりずっと下になっている。あまり気にしすぎることはないであろうが、「幸せに暮らせる家」「安心して最期を迎えられる家」を増やせるのでなければ、いかに性能や耐久性が良いものを提供しても、空き家の増産に加担するだけで意味がないのかもしれないと感じる。

#### ○次回部会予定：11 月 11 日(月) 18：00～

### □ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

- ・10 月度、マンション管理組合支援事業受託進展状況
  - 1) 新規引合いは 6 件となりました。(①上鷺宮改修設計 ②柏市建物診断③国分寺市建物診断(丸山事務所から) ④稲城市長計見直し⑤東陽町設備定期検査補助、(上鷺宮の管理組合役員の事務所から、集合住宅部会と共同取組) ⑥逗子市営住宅の再生検討資料作成補助)
  - 2) 今年度、新規受託は 1 件増え 6 件(①すずかけ台建物診断調査②北区浮間工事監理③西東京市工事監理④東陽町防火設備定期検査⑤上鷺宮建物診断⑥南大井理事会運営補助)。加えて、公営住宅(PC 壁式 3F 建物)の再生について、地方自治体の基本的方向は「建替え再生」で、改修による再生との費用対効果について、LCC までの考慮は不要との条件付きで、比較検討案が求められています。皆さんの活発な意見交換を期待しています。
- ・部会では定例議題のほか、10 月 11 日に開催された企画 WG で共同研究テーマとなった【100 年住宅・建築に対するサーツの取組】についての議論があります。

#### ○次回部会予定：11 月 11 日(月) 18：00～

集合住宅部会との合同開催

- 建築技術誌 11 月号(10 月 17 日発売) サーツ欄記事
  - ・片岡泰子：「スクラムかみへい住宅-7 年の記録」から地域型復興住宅づくりを考える
  - ・浅野忠利：寺子屋講座「ドイツの職能教育-マイスター制度の現在

□ 余滴：秋深む世界ラグビー盛り上がる 捷三郎